

教養（語学）科目 シラバス

100501			
科目名	英語A	年次配当	1年次
担当者	Ian Michael Hampstead	開講時期	前期
所属	国際文化交流学科	資格選択区分	栄養教諭免許資格必修
授業形態	演習		
単位数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

この授業は英語コミュニケーションの基礎を学び、異なる文化を理解し、聞く・話す・読む・書く力をつけることを目的とする。学生たちがグループや個別でコミュニケーションを行う際の自信を育成することを重視し、ロールプレイング、グループでのプレゼンテーションを行う。**授業は全て英語で行う。**  
 ※受講者数は原則40名までとします。多い場合は抽選を行います。

到達目標

次の項目について英語で表現できる。  
 1) 自分の紹介をしっかりと、はっきりした声で言える。  
 2) さまざまなトピックでグループ活動を行うことができる。  
 3) さまざまなテーマでディスカッションを行うことができる。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外  
 ワークシートを配布するほか、必要な場合はテキストの購入を指示する

評価方法

準備15%（予習・宿題をきちんと行う、辞書を持参する）  
 授業への参加（グループ・ペアワーク等の活動）40%、積極的な態度25%、試験20%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

この授業では、積極的に授業に参加し、意見を述べることを特に重視します。英語を話す際の自信をより大きくすること、これがこの授業で学生たちに達成してほしいことです。

授業計画

- 1 標準英語：基本的な文法と会話
- 2 単語の学習：動詞、名詞、形容詞
- 3 文の学習：前置詞、接続詞
- 4 プレゼンテーション：自己紹介、趣味、日常決まってること
- 5 ロールプレイ：初めての人に出会う（グループ活動）
- 6 ロールプレイ：計画を立てる（ペアワーク）
- 7 ロールプレイ：電話で話す（ペアワーク）
- 8 ロールプレイ：意見を言う（グループ活動）
- 9 自信をつける：間違いから学ぶ
- 10 語彙をふやす：日々の生活
- 11 ロールプレイ：ホテルで（ペアワーク）
- 12 ロールプレイ：空港で（ペアワーク）
- 13 ロールプレイ：レストランで（グループワーク）
- 14 語彙と文のゲーム：まとまった話をする
- 15 復習

※ シラバス原文は英語

教養（語学）科目 シラバス

100501			
科目名	英語A	年次配当	1年次
担当者	岡田 千陽	開講時期	前期
所属	非常勤講師	資格選択区分	栄養教諭免許資格必修
授業形態	演習		
単位数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

授業では、Unitごとに内容の異なるまとまった長さの英文について、大意を説明したり詳細に訳したり、内容に関する問題に答えたりすることが中心となる。読解のほかに聴解も含まれる。学習したことのまとめとして、課題プリントの提出が数回求められる。

到達目標

既に身に付いている英語の知識と能力を確認・運用しながら、平易なものを実際に理解し、英文の内容の面白さ等を味わえるようになる。その上で、新しい知識も少しずつ加えて、表現にも役立てる。

教材

教科書(テキスト)

*Premium Reader -Elementary-* (『英語リーディングとの出会い：初級編』) (金星堂)

テキスト以外

必要に応じてプリント配布

評価方法

定期試験60%、提出物30%、授業態度10%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

予習として、本文を読んで内容の見当をつけておくことが求められます。わからない単語は調べましょう。自分でどれくらい読めたかを授業で確認するやり方が内容の理解を深めます。提出物の出来も評価に大きく関わりますので、期限を守って欠かさず提出してください。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 Unit 1 The Hungry Cat
- 3 Unit 2 The Chocolate Chip Cookie
- 4 Unit 3 Hollywood's Hero
- 5 Unit 4 Miscommunication
- 6 Unit 5 The Lucky Ride
- 7 Unit 6 A Real Monster
- 8 Unit 7 Lunchbox Revolution
- 9 Unit 8 How English Grew & Grows
- 10 Unit 9 Hudson River Miracle
- 11 Unit 10 Odd Crimes
- 12 Unit 11 The Lucky Traveler
- 13 Unit 12 Are Men Losing?
- 14 Unit 13 Super-Sized Dream
- 15 Unit 14 It's Against the Law

教養（語学）科目 シラバス

100503			
科目名	ドイツ語 I	年次配当	1 年次
担当者	荒井 優	開講時期	前 期
所 属	国際文化交流学科	資格選択区分	
授業形態	演習		
単 位 数	1 単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要

ドイツ語を読むにしても話すにしても、基本的な文法は不可欠である。簡単な会話文を通して文法を学び、ドイツの基本的文献を読んだり、ドイツの風土や文化を視聴する。

到達目標

ドイツ語初歩である。ドイツ語の発音・読み方を重点的におこないながら、動詞の人称変化、名詞の格変化までを学習する。基本的な文章の組み立てができるようになることが目標である。

教材

教科書(テキスト)

初級ドイツ語学習読本  
『ドイツ語を楽しく (改訂版)』 同学社

テキスト以外

適宜プリントを配布する。参考書は常木実『標準ドイツ語』（郁文堂）を薦める。

評価方法

試験 70%、授業態度 30%（ただし出席状況が前提）

学生に対するメッセージ（準備学習等）

他の語学と同様に、音読することが大切である。前期は発音と初歩的文法に重点をおき、後期は簡単な会話・講読、ビデオ視聴、音楽・映画、文献講読などを予定している。  
最終的な目標は自己紹介ができるようにすること。

授業計画

- 1 ドイツ語の綴りと発音
- 2         "
- 3         "
- 4 簡単な挨拶
- 5         "
- 6 動詞の人称変化
- 7         "
- 8         "
- 9 名詞の性と格
- 10        "
- 11        "
- 12 定冠詞・不定冠詞
- 13        "
- 14        "
- 15 ヨーロッパ（特にドイツ）観光視聴

教養（語学）科目 シラバス

100505			
科目名	中国語 I	年次配当	1 年次
担当者	川口 斐斐	開講時期	前 期
所 属	非常勤講師	資格選択区分	
授業形態	演習		
単 位 数	1 単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要

中国語の基本の声調を声に出して学ぶ。繰り返し音読することによって中国語の語感、音感、リズムを身につける。授業では歌などを教材に取り入れ、学生に中国語を使わせることに重点を置き、間違いを繰り返しながら、徐々に習得させる教育法に努める。

※1つの授業の受講者数は原則40名までとします。多い場合は抽選を行います。

到達目標

中国語の発音と文法の基礎を確かなものにして、初歩的な運用能力を身につける。  
簡単な日常会話を中国人と出会った時、話せるようになる。

教材

教科書(テキスト)  
中国語10課

テキスト以外  
ラジカセ、プリント

評価方法

定期試験70%、宿題・発表20%、授業態度10%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

授業では発音の練習を中心に進める。単語のテストをする。

授業計画

- 1 中国語の基礎を紹介する
- 2 ピンイン（発音記号）声調
- 3 ピンイン（発音記号）声調
- 4 ピンイン（発音記号）声調
- 5 人称代名詞
- 6 指示代名詞
- 7 同上（会話練習）
- 8 動詞の文
- 9 同上
- 10 形容詞の文
- 11 同上
- 12 完了形
- 13 同上
- 14 数の数え方、月・日・曜日の表現
- 15 総復習

教養（語学）科目 シラバス

100507			
科目名	韓国・朝鮮語 I	年次配当	1年次
担当者	賈 惠京	開講時期	前期
所属	非常勤講師	資格選択区分	
授業形態	演習		
単位数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	3名

授業概要

ハングルの書き方や読み方を習得し、基礎文法を活用して簡単な会話や文ができるようにすると共に、随時、韓国の社会事情を紹介して、異文化にふれていく。  
※1つの授業の受講者数は原則40名とします。多い場合は抽選を行います。

到達目標

隣国の言葉である韓国語を通して、視野を広げて物事のグローバルな考え方を養い、心を豊かにすると共に、日本を再認識する。ハングル基礎文法の習得により、基本会話や文の応用ができ、韓国文化を理解する。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外  
「みんなの韓国語1」 (白帝社) 副教材：改訂版 日韓類似ことわざ辞典 (白帝社)

評価方法

試験80%、提出物10%、授業態度10%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

「継続は力になる」ということばを肝に銘じながら、休まず講義を受けて韓国のことばや文化を楽しみましょう。

授業計画

- 1 ハングルの概要
- 2 文字と発音（母音）
- 3 文字と発音（子音）
- 4 文字と発音（子音）
- 5 文字と発音（濃音）
- 6 文字と発音（合成母音）
- 7 文字と発音（終声）
- 8 発音のルール1
- 9 発音のルール2
- 10 会話と文法
- 11 会話と文法
- 12 会話と文法
- 13 会話と文法
- 14 会話と文法
- 15 会話と文法



教養（語学）科目 シラバス

100502			
科目名	英語B	年次配当	1年次
担当者	Ian Michael Hampstead	開講時期	後期
所属	国際文化交流学科	資格選択区分	栄養教諭免許資格必修
授業形態	演習		
単位数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

この授業は英語コミュニケーションの基礎を学び、異なる文化を理解し、聞く・話す・読む・書く力をつけることを目的とする。学生たちがグループや個別でコミュニケーションを行う際の自信を育成することを重視し、ロールプレイング、グループでのプレゼンテーションを行う。**授業は全て英語で行う。**  
 ※受講者数は原則40名までとします。多い場合は抽選を行います。

到達目標

次の項目について英語で表現できる。  
 1) 自分の紹介をしっかりと、はっきりした声で言える。  
 2) さまざまなトピックでグループ活動を行うことができる。  
 3) さまざまなテーマでディスカッションを行うことができる。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外  
 ワークシートを配布するほか、必要な場合はテキストの購入を指示する

評価方法

準備15%（予習・宿題をきちんとする、辞書を持参する）  
 授業への参加（グループ・ペアワーク等の活動）40%、積極的な態度25%、試験20%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

この授業では、授業に積極的に参加し、意見を述べることを特に重視します。英語を話す際の自信をより大きくすること、これがこの授業で学生たちに達成してほしいことです。

授業計画

- 1 標準英語：日常よく使う表現
- 2 単語の学習：ことば探し（ゲーム）副詞
- 3 文の学習：会話を完成させる
- 4 語彙をふやす：国と民族
- 5 語彙をふやす：人々の特徴
- 6 ロールプレイ：自分のことを話す1（グループ活動）
- 7 ことばの連想1：家族と友人
- 8 ロールプレイ：初めての人を紹介する（ペアワーク）
- 9 ことばの連想2：趣味、娯楽
- 10 ロールプレイ：自分のことを話す2（グループ活動）
- 11 語彙をふやす：道順を尋ねる、教える
- 12 ロールプレイ：道に迷う
- 13 グループ活動：パーティでー自信をつける（ゲーム）
- 14 語彙と文のゲーム：質問に続けて
- 15 復習

※ シラバス原文は英語



教養（語学）科目 シラバス

100504			
科目名	ドイツ語Ⅱ	年次配当	1年次（前期単位の取得者のみ）
担当者	荒井 優	開講時期	後 期
所 属	国際文化交流学科	資格選択区分	
授業形態	演習		
単 位 数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要

ドイツ語を読むにしても話すにしても、基本的な文法は不可欠である。簡単な会話文を通して文法を学び、ドイツの基本的文献を読んだり、ドイツの風土や文化を視聴する。

到達目標

ドイツ語Ⅰに続く。ドイツ語の発音・読み方を確認した上で、最低限必要な基礎文法を学習する。動詞・助動詞の人称変化や名詞・冠詞・冠詞類などの格変化のマスターを目標とする。

教材

教科書(テキスト)

初級ドイツ語学習読本  
『ドイツ語を楽しく（改訂版）』同学社

テキスト以外

適宜プリントを配布する。参考書は常木実『標準ドイツ語』（郁文堂）を薦める。

評価方法

試験70%、授業態度30%（ただし出席状況が前提）

学生に対するメッセージ（準備学習等）

他の語学と同様に、音読することが大切である。前期は発音と初歩的文法に重点をおき、後期は簡単な会話・講読、ビデオ視聴、音楽・映画、文献講読などを予定している。

授業計画

- 1 動詞の人称変化（復習）
- 2 冠詞類の格変化
- 3 〃
- 4 話法の助動詞
- 5 〃
- 6 過去形
- 7 〃
- 8 現在完了形
- 9 〃
- 10 基礎講読（笑い話、推理など）
- 11 〃
- 12 〃
- 13 文献講読（聖書、思想など）
- 14 〃
- 15 〃

教養（語学）科目 シラバス

100506			
科目名	中国語Ⅱ	年次配当	1年次（前期単位の取得者のみ）
担当者	川口 斐斐	開講時期	後 期
所 属	非常勤講師	資格選択区分	
授業形態	演習		
単 位 数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

中国語の発音と文法の基礎を確かなものにして、ロールプレイによって初歩的な運用能力を養成する。  
中国事情の提供、歌の学習なども行う。  
※1つの授業の受講者数は原則40名までとする。多い場合は抽選を行います。

到達目標

中国語の発音チェック、ヒアリング、会話練習などによって簡単な日常会話ができるようになる。  
自己紹介ができるようになる。

教材

教科書(テキスト)  
中国語10課

テキスト以外  
ラジカセ

評価方法

定期試験70%、宿題・発表20%、授業態度10%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

授業では発音の練習を中心に進める。単語テストをする。

授業計画

- 1 前期学習した内容の復習
- 2 反復疑問文
- 3 同上
- 4 時刻の言い方
- 5 同上
- 6 過去の言い方
- 7 同上
- 8 願望の言い方
- 9 同上
- 10 進行形
- 11 比較文
- 12 祝福の慣用文
- 13 同上
- 14 学習内容のまとめ
- 15 総復習

教養（語学）科目 シラバス

100508			
科目名	韓国・朝鮮語Ⅱ	年次配当	1年次（前期単位の取得者のみ）
担当者	賈 惠京	開講時期	後 期
所 属	非常勤講師	資格選択区分	
授業形態	演習		
単 位 数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	3 名

<b>授業概要</b>	
<p>原則的には教科書に沿って授業を進めていく。学習事項に重点をおいて、文法を説明し、練習問題を解きながら授業を進める。随時韓国の社会事情を紹介して、異文化にふれていく。                  ※1つの授業の受講者数は原則40名までとします。多い場合は抽選を行います。</p>	
<b>到達目標</b>	
<p>隣国の言葉である韓国語を通して、視野を広げて物事のグローバルな考え方を養い、心を豊かにすると共に、日本を再認識する。母国語以外の言葉に触れ、言葉の多様性を認識する。ハングル基礎文法の習得により、基本会話や文の応用ができ、韓国文化を理解する。</p>	
<b>教材</b>	
教科書(テキスト)	テキスト以外
「みんなの韓国語1」 (白帝社)	副教材：改訂版 日韓類似ことわざ辞典 (白帝社)
<b>評価方法</b>	
試験80%、提出物10%、授業態度10%	
<b>学生に対するメッセージ（準備学習等）</b>	
<p>「継続は力になる」ということばを肝に銘じながら、休まず講義を受けて韓国のことばや文化を楽しみましょう。</p>	

<b>授業計画</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ハングルの概要</li> <li>2 会話と文法</li> <li>3 会話と文法</li> <li>4 会話と文法</li> <li>5 会話と文法</li> <li>6 会話と文法</li> <li>7 会話と文法</li> <li>8 会話と文法</li> <li>9 会話と文法</li> <li>10 会話と文法</li> <li>11 会話と文法</li> <li>12 会話と文法</li> <li>13 会話と文法</li> <li>14 会話と文法</li> <li>15 会話と文法</li> </ol>

教養（語学）科目 シラバス

100510			
科目名	日本語B	年次配当	1年次
担当者	岡野 幸夫	開講時期	後 期
所 属	国際文化交流学科	資格選択区分	
授業形態	演習		
単 位 数	1単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

受講者の能力レベルに応じて、発音・文字表記・語彙・構文などについて指導する。その上で、特に読み書きの能力向上を目指して授業を行う。授業は、具体的な課題に取り組み、教師が問題点を説明する形式で行う。

到達目標

日本語能力試験 1 級または 2 級の合格に必要な、文字・語彙・文法・読解の各能力を身につけている。

教材

教科書(テキスト)  
指定しない

テキスト以外  
適宜プリントを配布する

評価方法

授業態度 35%、試験 65%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

意欲を持って積極的に取り組んでください。「これで完璧」というラインはありません。

授業計画

- 1 対話による日本語能力の確認・授業内容と方法の確定
- 2 文字（1）
- 3 文字（2）
- 4 語彙（1）
- 5 語彙（2）
- 6 語彙（3）
- 7 語彙（4）
- 8 文法（1）
- 9 文法（2）
- 10 文法（3）
- 11 文法（4）
- 12 読解（1）
- 13 読解（2）
- 14 読解（3）
- 15 読解（4）、まとめと試験の指示